

No.211 悪性リンパ腫 化学療法(R-CHOP療法導入) 基本パス

ID @PATIENTID氏名 @PATIENTNAME

	入院日・治療前日	治療日			治療2日目～5日目	治療6日目	治療7日目・退院日
	/	治療前	リツキシマブ投与	CHOP療法投与	/ ～ /	/	/
		/					
目標	・化学療法の必要性を理解の上、文書にて治療の同意をしている。 ・治療のスケジュールが理解できる。 ・治療の合併症および副作用を理解している。		・リツキシマブによるアレルギー症状が現れたとき、すぐに報告ができる。 ・点滴によるトラブルが起きないように注意を払うことができる。	・CHOP療法による副作用が現れたとき、すぐに報告ができる。 ・点滴によるトラブルが起きないように注意を払うことができる。 ・プレドニンをはじめとする薬の内服を確実にできる。	・プレドニンをはじめとする薬の内服が確実にできる。 ・治療開始前と同じリズムで排便がある。 ・うがい、手洗いなどの感染予防が実施できる。	・発熱性好中球減少症について理解できる。 ・発熱時の対応が理解でき、実施できる。 ・末梢神経障害について理解できる。 ・うがい手洗いなどの感染予防ができる。	
検査	・治療を始めるために、以下の検査を行います。 □採血 □レントゲン □心電図 □その他（ ）						・治療2日目に血液検査があります。 ・その後は必要時に血液検査があります。
治療処置	内服薬の持参があれば、入院時に看護師に渡してください。 薬剤師が内容を確認後、担当医により内服の継続、中止を判断します。		・点滴用に留置針を挿入します。 ・リツキシマブ投与前にアレルギー予防の薬を使用します。 ポラミン 5mg 1A ソル・コーテフ 100mg 1A 静注 ・CHOP療法の投与前に吐き気止めの点滴を行います。 グラニセトロン3mg 点滴 30分	・リツキシマブは少量から始めて、身体の状態を見ながら徐々に点滴の速度を上げていきます。 ・リツキシマブを始めて、随時体温や脈拍、血圧、酸素飽和度を看護師が測定します。 ・プレドニン内服（ ）錠 朝・昼			点滴 ・ドキソルビシン 10分 ・オンコビン 10分 ・エンドキサン 30分 点滴がおわったら、針を抜きます。 吐き気があるとき、追加で別の種類の吐き気止めを内服できます。 不眠時、睡眠導入剤を内服できます。
観察	・身長・体重 ・体温・血圧・脈拍 ・酸素飽和度	・体温、血圧、脈拍 ・酸素飽和度 主な副作用 ・便秘 ・吐き気や嘔吐、倦怠感 ・点滴部位の腫れや痛み ・アレルギー様症状：のどの違和感、全身のかゆみ、息苦しさなど ・不眠	・体温、血圧、脈拍 ・酸素飽和度 主な副作用 ・便秘 ・吐き気や嘔吐、倦怠感 ・不眠	・体温、血圧、脈拍 ・酸素飽和度 主な副作用 ・便秘 ・吐き気や嘔吐、倦怠感 ・不眠			
活動	特に制限はありません。		治療に差し支えない程度であればかまいません。		特に制限はありません。		
清潔	入浴できます。		点滴時以外は入浴できます。		入浴できます。		
食事	特に制限はありません。		特に制限はありません。		特に制限はありません。希望に応じて食事を変更できます。		
説明・指導	以下について説明します。 ・担当医から治療計画について ・看護師から入院生活について ・治療パンフレット	副作用症状があればお知らせください。 以下について説明いたします。 ・外来での治療計画について。 ・発熱性好中球減少について。 ・薬について			重大な副作用がなければ退院が可能です。 退院後の生活や緊急時の対応について説明いたします。		